

令和元年度 今治市障害者作業所 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者作業所
所在地	今治市菊間町長坂2001番地
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 作業所こまどり</p> <p>代表者 理事長 松田鈴美</p> <p>住所 今治市菊間町長坂2001番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syogaifukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	運営規程として明文化している。	A	同じ職員が引き続いて施設の管理運営をしているので、施設の設置目的や管理運営基準を十分理解したうえで運営できています。
利用状況	B	送迎できない点がウイークポイントである。利用の希望者もありながら、実際は利用者数が増加しない。	B	近年利用者が固定しているように見受けられます。希望者はいる状況なので、新規利用者を増やすために新たな取り組みをご検討ください。
事業収支	A	自主事業による収入を得るとともに、支出が多い場合は保護者から寄付してもらうなどして、事業運営を安定して行っている。	A	自主事業の収入や保護者からの寄付により収支プラスで決算を迎えることができています。引き続き経費節減に努め安定した施設運営をお願いします。
管理運営体制	B	管理運営業務を実施するための人員を配置できている。職員と役員のミーティングは月1回、職員同士のミーティングは毎日行っている。	B	人員配置は仕様書の基準に沿って適正に配置されています。利用者サービス向上の為に定期的なミーティングを実施し、情報共有ができています。また利用者一人一人に寄り添った支援ができています。研修ではアンデス織り紐講習を実施するなど、新たな取り組みに向けた研修ができています。
管理運営業務	A	清掃作業や日常点検など日頃より適切に行っている	A	仕様書の基準に沿った管理運営ができています。また毎日の作業後に職員と利用者が整理整頓や清掃をして、施設の美化に取り組んでおります。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	宣伝広報に関しては独自のイベント開催により十分宣伝されていると思われる。	C	利用者の指導体制という点において職員個人の能力に依存しているところがあり、将来の後継者への引きつぎが心配な点があります。宣伝広告業務では地域の各イベントなどに参加し展示販売するなど、しっかりとPRできています。また市外から多くの見学者を受け入れています。
その他業務	A	事故対応及び防災マニュアルは整備されている。個人情報マニュアルについても同じ。	B	各種マニュアルは整備されており。また警報発令時の対応も迅速かつ適切に実施できおり、利用者の安全に配慮できています。
修繕業務	A	備品は日々点検しており、修繕箇所を発見次第速やかに対応している。	B	施設修繕については、建物が新しいため施設本体の修繕は発生していません。職員が日々点検することで迅速に対応できる体制ができています。
備品管理業務	A	備品は常に同じ場所へ戻すようにし、適切に管理をしている。	A	備品の状態確認を含めた管理が適正に行われています。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	-	対象外	-	
自主事業	A	羊の毛刈り大会や菊間夏祭り・暮らしのものづくり展等、地域と密着した独創的な事業を展開できている。 a lot of option の依頼で高島屋・東急ハンズ・リブアートでの出品等、今年度は新しい展開もあった。	A	毎年恒例となっている手刈り大会ではメディアにも取り上げられ、多くの方が参加しています。また障がいアートとデザイナーとのコラボによる販路開拓など新たな取り組みも実施できています。
地域団体との連携	A	小中学校へ織物等の講習にスタッフが出向いたり、生徒・児童を受け入れたりと交流は積極的になされている。	A	地域の各種団体としっかりと連携し、さまざまなイベントに参加できています。また地元の小中学生との交流も継続しており、地域に根ざした施設運営ができています。
利用者アンケート	A	少人数でもあり、毎回同じような内容であるが、アンケート実施時にかかわらず普段から保護者との意見交換は十分にできていると思う。	B	アンケート結果は概ね良好です。ただ直近のイベント等をアンケートで記入することもありますので、イベントごとにアンケートや聞き取り調査を行うなどし、潜在的な意見を引き出せるよう努めてください。
事故・苦情	A	苦情や事故は発生しなかった。	A	事故や苦情もなく事業を実施できています。今後も事故や苦情がないよう安心安全な事業実施に努め、保護者やボランティアとの連携を図ってください。
指定管理者の経営状態			賞借対象表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総合コメント（市）

平成23年度より、今治市地域活動支援センター運営事業補助金交付要綱による補助金を活用し運営されています。他の作業所では見られない独自の作業(羊の育成、羊毛、綿花の採取から製品加工、展示販売までの一連の流れ)を行うほか、藍染めや木工、織り、タオルの袋詰め、公園清掃を実施しています。また、自分たちからも地域へ羊の毛刈り大会を開催することで、情報発信しています。市外、県外から問い合わせや視察、情報交換など作業所や障がい者団体との交流が図られており、各所から注目される施設となっています。施設利用について、利用者が固定される状況が続いており、新規の利用者の獲得が課題となっています。また、利用者の安全のため、作業のしやすい環境整備のため、日頃からの清掃、整理整頓について配慮が必要です。